

## 宣教師

2011年6月30日 アシェル・イントレーター

ヘブライ語で最も禁句とされている言葉は、4文字単語(訳注:英語の4文字単語で有名な禁句がある)ではありません。残念ながら、それは「宣教師」という単語です。その文化的な成り行きは複雑です。それには5段階の意味があります。まず最悪なものから始めます。

1. **魂の泥棒** – 安っぽいSF映画のように、宗教的な過激派は、宣教師が無実なユダヤ人の魂を盗むという印象を与えています。一般的な文句は、ナチスは私たちの体と魂を殺し、あなたがたは私たちの魂を殺すというものです。これは反メシアニックのデモ活動において強い感情と共に叫ばれるものです。
2. **犯罪者** – イスラエルには反宣教法があります。これは、伝道を禁じているものではありません。これには二つの条項があります。それは、自分の宗教を変えさせるために買収することと、親の望みを無視して未成年者を改宗させるというものです。両方の嫌疑はばかげたものですが、それらは私たちに対して巧みに悪用して用いられるのです。
3. **不正行為** – 心理的に人々を圧迫すること、疑うことを知らない未成年者を餌食にすること、人々のニーズを利用すること、などといったイメージです。繰り返しますが、ばかげた糾弾ですが、それが何度も繰り返されると、私たちが自分の信仰を他者と分かち合う時不信感を作り出します。
4. **ユダヤ人としてのアイデンティティから改宗させる** – これは救いのための霊的な信仰ではなく、間違った意味での改宗です。すなわち、個人の民族的アイデンティティを変えること、自分の民族を裏切ること、異邦人となること、宗教的宗派を変えること、神と祖父たちとの契約を破ることを意味します。
5. **伝道用の配布物を渡す** – 合法的に聖書または福音の配布物を配ることは、上の4区分と一緒にされることが多いのです。最初の4つは私たちの姿ではないし、私たちはそういうことをしていません。5番目は行っています。私たちがヘブライ語で、私たちが「宣教師」とか聞かれた場合、答えとして、すべての否定的な定義に対して反対しますが、法律に則り自分の信仰を誰でも、いつでも分かち合うと答えます。

今週、反メシアニックの団体が私たちに対するキャンペーンを繰り返していました。SさんとNさんの家の前でのデモ活動はうまく行きませんでした。たった30人ほどの宗教的な人々が現れただけでした(ほとんどの人が、私が立ち去るように言われるまで私が出席したシナゴークからの人々でした)。扇情的なレトリックは3つのターゲットに向けられていました、すなわち、メシアニックジュー全般、私個人、そしてSさんとNさんの家族に対してです。さらに、別の私たちに対する非難記事が新聞に掲載されました。

私たちが使徒行伝を学べば学ぶほど、使徒的な生活において宗教的な迫害は不可分な要素であることに気がつきます。今週気がついた3つの要素は群衆をあおり立てること、偽の証言、そして反ユダヤであると糾弾することです。それは、ステパノやパウロ/パウロの時も同じでした。

宗教的な指導者はステパノ(使徒 6:12)とパウロ(使徒 21:27)に対して群衆をあおり立てました。迫害を起こすため、人々は感情的かつ興奮することによって、非合理的に活動するのです。

偽の証言が、ステパノに対して述べられ(使徒 6:13)、そしてパウロに対して異邦人を神殿に連れてきたと(使徒 21:29)述べられました。偽の証言が事実と証拠の提出を認めないような環境に持ち込まれた場合、そこには証言に反論する機会はありません。群衆の怒りは偽の証言によって拡大するのです。

ステパノ(使徒 6:13)とパウロ(使徒 21:28)双方ともトーラー、神殿、ユダヤ人または伝統に反して活動していると非難されました。私たちはメシアニックジューとして、自分の民、国、そして契約に対して熱心で忠実であります。パウロは忠実であることを証明するため誓願を立てに行きました。(使徒 21:21-24) しかし、それは何の助けにならなかったようですが、それは自分の民や神に対して重要なことでした。私も、そこでデモ活動していたメンバーが、そのシナゴグの一員であったとしても、そのシナゴグにいたことについて同じように感じました。

私たちは継続的にさらなるデモ活動、報道、偽の証言、宗教的な指導者からの脅迫を受けています。SさんとNさんは家から追い出すぞという脅しを受けています。これらすべてのことについて、私たちは勝利者以上の存在です(ローマ 8:37)。ほとんどの迫害はイエシュアの証につながるのです(マルコ 13:9)。私たちは主の御名によって、迫害を受けることを喜ぶのです(マタイ 5:11-12)。

これらの攻撃の第一の目的は恫喝です。ヨハネはこの霊を「ユダヤ人に対する恐れ」と呼びました。ニコデモは夜にやってきました(ヨハネ 3:1)。多くの宗教的なユダヤ人はイエシュアを信じたが、彼らの信仰を隠していました(ヨハネ 7:13)。その恐れとは共同体から除名されることです(ヨハネ 9:22)。ラビたちの中で、多くの秘密の信者たちがいました(ヨハネ 12:42)。アリマタヤのヨセフは秘密裏にやってきました(ヨハネ 19:38)。弟子たちでさえ閉じられた扉の後ろで恐れのために隠れました(ヨハネ 20:19)。

これはユダヤ人に対する恐れではなく、立腹した宗教的な指導者からの恫喝の悪魔的な霊なのです。今週の集会時、あるアメリカ人レポーターがいました。彼はイスラム世界における迫害報道について多くの経験がありました。彼は私たちを呼んで言いました。「私はお詫びしたいと思います。あなたに対する迫害は本物だと思わなかったのです。しかし、ここで私は、聖戦過激派の表情にさえ見たことがなかった恐れをここで経験しました。」

よいニュースは、これらの迫害は実際人々を私たちに引き寄せているのです。多くの人々がそこに不正を見いだしています。私たちが愛、信仰、そしてへりくだりをし続けている間、主が私たちの民の心に触れて下さるのです。

## モサブ

ここに8分間のモサブの動画があります。彼のイエスへの信仰とイスラム教やイスラエルに対してどう感じているかについて語っています。<http://www.katsomo.fi/?progId=71943> (最初フィンランド語ですが、インタビューは英語です。)

どうか彼とすべての私たちのアラブ・クリスチャンの兄弟姉妹を覚えてお祈り下さい。

## サメク・ヤナイ氏

私たちの親愛なる兄弟で信仰の息子であるユヴァル・ヤナイに金曜日、シュイレルという美しい10ポンド(4500グラム)の女の赤ちゃんが生まれました。日曜日、彼の父、サメク・ヤナイ氏が91歳で亡くなりました。サメク氏はイスラエル海軍の創始者の一人で、故ベン・グリオン初代首相の個人的なアドバイザーでした。彼の葬儀には5人の将官と大勢の共同体指導者が参列しました。俳優ハイム・トポルさんが追悼歌を歌いました。それは、私たちの国の建国の父の一人を記念する貴重な瞬間でした。